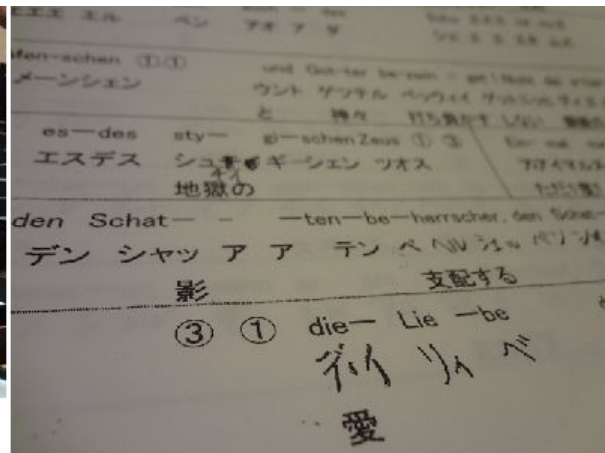


Liebe

- 2011.08.28 Sunday
- 23:53



8月20日定例練習がなかったので SOS 要請のあったベースの特練しました。
練習後は、いつも「お疲れ～ありがとね！」とねぎらって下さる優しい心配りの紳士方。
その気持ちが心にしみます。お酒も美味しかったね！
いろんな話もしました。こういうコミュニケーション大事だよね～と一同。
しばらく歌わないとリセットされるのが悲しい。自分が悔しい。
練習中の注意もわかつちやいるけど辛いよな～と、だから皆さん必死。

ドイツ語に凹む仲間の気持ちを UP させようと自分で資料(写真右)を作って差し出す方もあり。そこにはメンバーを思い遣る Liebe が溢れていました。確かにドイツ語・ラテン語の曲ってわが団ではなじみのない団員が多いからましてや暗譜なんて無理！って凹む気持ちもよくわかります。

そして、夏に入って女声・男声の P 練を何度もしていて感じる事あり。
最近、暗譜しなきゃ！が先に立ち、歌う楽しみなくしてませんか？
音楽の大きな流れを感じずに、単語ばかりを追ってしまっている。

そこで、自宅での練習をちょっと方向転換してハミングや母音で歌ったりして流れをつかむ練習に変えてみるのもいいかも。

記憶力の低下には逆らえないけど(笑)

私は曲に愛着を持てば、自然と「覚える」につながるような気持ちで取り組んでいます。
特に、ネニエは滅多に経験できないオケとの共演を楽しみに練習できればいいな・・・。

さて・・・こうやって P 練やると、いろんな声が耳に入ってきます。

技術のこと、人間関係のこと、さまざまな波

大きな波、小さな波、ざんぶらこと寄せてはおぼれそうになり

心も折れてしまう団員もいるかも・・・。

でも仲間や曲への Liebe 信じて感じて、

あと2ヶ月、そろそろ旋律が楽しめるようになりたいな・・・と思う最近の帰り道。

自由に楽しく初オケ合わせ

- 2011.08.07 Sunday
- 23:15



昨夜は女声の特練をやりました。
暑いのに関わらず、出席率の良さに感激する私です。

せっかくの練習だから、かなり練習案??を練るんですが、
やはりそこは臨機応変にいかねば・・・は教室の生徒さんと一緒です。

でも、どんな時も音を伝える時に心がけているのは「楽しく、わかりやすく」
レベルの高さを求めている団員には物足りなさを感じる時間かもしれないけれど、
それは神谷先生、毛利先生にお任せして。

正直、今取り組んでいるプログラムは、かなり厳しく重く感じる団員もいる。
だからこそ、心が離れないよう、曲に寄り添える時間にしたいと思っているわけで。

「自由に楽しく」はブラームスの音楽のモットーでもあったそう。

「きてよかった！楽しくてあっという間の２時間だった～！」

帰りがけに声をかけていただきました。
楽譜とにらめっこし、あれこれと策を練った甲斐がある一瞬です。

今すぐは効果はなくても心がけ次第で何かは変わるはず。
だって人間の器官の中で老いが一番遅いのが声帯だから・・・。

「諦めないで」

そして・・・今宵。
6人のオケの方々が来てくださって合わせました。

旋律の歌い方、勉強になりました。
一同感激～～。「おお～ブラームスよ！」って感じで。

オケに負けない響き、課題です。。。。